



鶴田町長
相川 正光

年頭にあたつて

謹んで新年のお祝いを申し上げます。皆さまには、すがすがしい新春をお迎えのことと心からお喜び申し上げます。

一昨年猛威を奮った新型コロナウイルス感染症は昨年も収束することなく、全国の感染者数が累計で170万人を超えるなど、依然として予断を許さない状況にあります。国内においては延期されていた2020年東京オリンピック・パラリンピックが開催され、秋頃から新規感染者数は大幅に減少しておりますが、多くのイベントなどが延期や中止を余儀なくされるなど、未だ収束の兆しは見えておりません。

このような状況の中、新型コロナウイルスワクチンの接種が全国で始まり、町でも昨年の4月26日から接種を開始いたしました。当初は電話がつながりにくいなご迷惑をおかけいたしました。が、皆様のご理解、ご協力により順調に接種が進み、現在では町民の8割以上の方々が2回目の接種を終えられております。3回目

の接種につきましても、昨年12月から接種券送付などの作業を進め、速やかに接種を開始することとしており、今後もスムーズに安心して接種いただけるよう取り組んでまいります。

町の農産物につきましては、青森県産の主食用米を出荷する際、生産者に仮渡しする「生産者概算金」の令和3年産米の目安額が大幅に引き下げられ、2013年からの下げ幅としては最大、金額も最低の水準となりました。この事態に町では、「水稻生産者再生生産支援事業」、「水稻種子助成事業」、「農業経営収入保険制度加入促進助成事業」の3つの助成事業を実施することを決定し、11月には県が「米価下落に関する経営相談会」を開催し、当面の資金繰りやセーフティネットへの加入、令和4年の作付計画など、農業経営全般にわたる相談、対応にあたりました。今後とも状況を注視しながら対策を講じ、各施策を進めさせていただく所存です。なお、りんごやスチューベン、春先の霜害やその後

の小雨などにより大きな被害はやぶりでしたが、大きな災害に見舞われることなく、糖度が高く品質も良好とのこと、今後も町の特産品として多くの皆さまにご賞味いただけるよう、昨年20周年を迎えた道の駅「あるじや」と連携しながらさらにPRに努め、農家の所得向上を目指し、地域の活性化を図ってまいります。

昨年12月、無事落成式を迎えた新生鶴田小学校では、同年8月、待望の鶴田小学校屋外運動場が整備され、同じく10月には新生鶴田小学校になって初めての運動会が行われました。当日は527人の子どもたちが元気に競技に参加し、ようやく開催された屋外運動場での運動会を楽しんでいた様子、うかがわれました。今後、新しい校舎、体育館、学童保育施設、学校給食センターをはじめとした子どもたちの教育環境のより一層の充実を目指してまいります。

町の人口につきましては、令和2年国勢調査の結果によると、前回5年前に実施された平成27年国勢調査の結果13,392人から12,074人と1,318人減少し、町の減少率としてはマイナスイ9.8%と過去最大の下げ幅となりました。

同じく昨年公表された2020年世界農林業センサスの結果によると、農業従事者数、農家数、農地面積が減少する一方で、農業従事者平均年齢は上昇するなど、当町の農業を取り巻く環境は依然として厳しい状況が続いております。特に高齢化、担い手不足は喫緊の課題であり、町ではこうした状況に少しでも歯止めをかけるべく、地域おこし協力隊の募集、移住促進交付金制度の実施、最大30万円補助される結婚新生活支援事業など、さまざまな施策を検討し実施しております。こうした取り組みにつきましても、一昨年に策定した第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略に基づき、今後とも検討を重ね対策を講じてまいります。

そして、町の最上位計画である第5次総合計画が、令和4年度で終了することから、町では昨年から

ら町職員によるプロジェクトチームを立ち上げ、次期総合計画策定に向け、協議を重ねており、12月には無作為抽出された2千名の町民の皆さまを対象にアンケートを実施いたしました。お寄せいただいた貴重なご意見は、今後のよりよい未来のまちづくりを目指し、活用させていただく所存でございます。

変化する社会情勢に柔軟に対応すべく多方面において様々な施策を展開しておりますが、今後も検討を重ね、より充実した内容となるよう、仕事と暮らしを支え、健康で長生きできる、そして次世代を育成する町を町民の皆さまと共に目指し、常に新たな施策にチャレンジしながら、町政運営に誠心誠意取り組んでまいりますので、今後ともより一層のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに本年が皆さまにとりまして健やかで幸多い年でありますようお願い申し上げます。新年のあいさつといたします。



鶴田町議会議長

北谷 正則

新年を迎えて

明けましておめでとうござい
ます。年頭にあたり町議会を代表
して、謹んで新年のご挨拶を申し
上げます。

町民の皆さまには、令和4年の
新春を健やかに迎えのことと
心からお慶び申し上げます。ま
た、日頃から町議会に對しまして
多大なるご理解とご協力を賜り、
厚くお礼申し上げます。

昨年を振り返ってみますと、令
和2年に引き続き新型コロナウイルス
の影響により、町で開催さ
れるイベントの多くが中止とな
り、開催を待ち望んでいた町民の
皆さまには大変残念な思いをさ
れたかと存じます。新型コロナウイルス
感染症については、感染予
防対策として、昨年、多くの町民
の皆さまがワクチンを2回接種
していただきましたが、今後3回
目の接種が予定されているところ
であります。国は、新型コロナ
ウイルス対策に加え、「新たな経

済対策」として、コロナ禍からの
経済回復を目指し、「成長と分配
の好循環」の実現に向けて取り組
んでおりますが、未だコロナ終息
は見通せない状況であります。町
民の皆さまにおいては、引き続き
基本的な感染予防に努めていただ
きますよう改めてお願いいたしま
す。議会としては、コロナ禍にお
いても町民の笑顔が広がるような
施策の実現のため、町政と一体と
なり努力してまいります。

また、当町においては昨年大き
な自然災害はなかったものの、近
年の異常気象は、いづどこで想定
外の災害をもたらすか分かりませ
ん。町では、B&G財団から災害
時に必要な機材や防災倉庫などの
助成を受けたほか、企業や関係機
関と災害時協定の締結を進めてき
ましたが、議会としても、引き続
き防災対策の強化に尽力していま
います。

町の基幹産業である農業です

が、コメについては、本県の作況
指数は102「やや良」となり、
10アール当たりの収量は616キ
ロで、8月の低温と日照不足の影
響により10アール当たりの収量は
前年度実績を下回るものと予想さ
れております。また、コメの生産
者概算金は、コロナ禍による業務
用米の需要低迷に加え、令和元年
産米および令和2年産米の過剰在
庫の影響もあることから、「つが
るロマン」と「まつしぐら」で、
令和2年産米よりも3,400円、
約30%も下落し、過去最大の下げ
幅となりました。

リンゴは、春先の霜害による変
色や6月から7月にかけての小雨
により小玉傾向となりましたが、
品薄状態に加え、県外産より高品
質に仕上がったことから平年より
高値になっているところです。
スチューベンについては、春先
から雨が少なく、生育期の天候に
恵まれ、9月から昼夜の寒暖差も

大きくなったことから、例年より
糖度も高く、仕上がりは良好と聞
いております。

農業現場では、少子高齢化の進
行と農業人口の減少により生産者
の労働力不足が大きな問題となっ
ていますので、国や関係機関の動
向に注視しながら現場に即した対
応を要望してまいります。

町の産業経済に目を向けます
と、道の駅「あるじゃ」がめでた
く20周年を迎えることができました。
富士見湖パーク内の観光施設
「ここにもあるじゃ」共々、コロ
ナ禍の影響により厳しい運営を強
いられていますが、町の観光拠点
としての役割を果たし、地域全体
の活性化につながることを期待し
ております。

教育においては、令和2年4月
に開校した鶴田小学校の屋外運動
場の工事が完了し、昨年12月に落
成式を迎えることができました。
より充実した教育環境の中で鶴田

町の将来を担う子ども達が立派に
育っていくことを期待し、議会と
しても、教育について様々な面で
提言できるよう努めてまいります。

町議会では、議案の印刷経費等
の削減を図るため、昨年12月定例
会からタブレット端末の導入によ
る議会のペーパーレス化を実現い
たしました。二元代表制のもと、
住民の代表機関である議会自らが
議会改革に積極的に取り組むこと
も、行政への監視機能の役割を
十分に果たすことが必要でありま
す。今後とも町民の皆さまの意思
を町政に反映させる重要な役割と
責任を再認識し、議員一丸となっ
て全力を尽くしてまいります。

結びにあたり、本年が町民の皆
さまにとりまして健やかで実り多
い年でありますようお願い申し上げ、
新年のあいさつといたします。